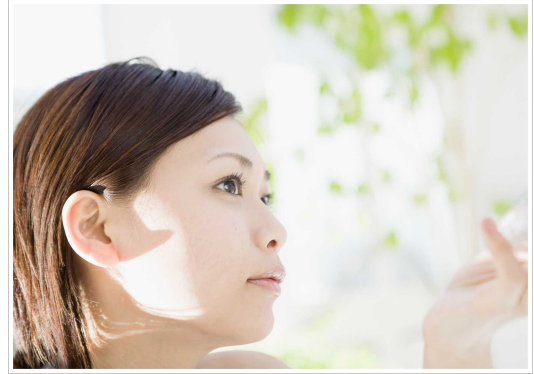


リキッドタイプのファンデーションを、手に取る適量は？

リキッドタイプのファンデーションは、手を使って顔に塗ります。

問題は、適量です。

「このくらいかな」と適当な感覚でと適当な感覚で、手に取っている人が多いのではないのでしょうか。



しかし「適当」という目安は、具体的ではありません。

うっかりチューブから出しすぎてしまうこともあれば、気分によって量が変わることもあるでしょう。

そこで、よい目安があります。

指です。

指の関節部分には、しわが寄っていますよね。

このしわが物差しを目盛りの代わりになり、役立ちます。

顔の大きさと手のひらの大きさは比例しやすいため、目安になりやすいのです。

では、肝心の適量です。


適量の目安は、ずばり中指の先から第2関節までです。

この量を基準にして、顔にファンデーションを塗っていきましょう。

ただし、これはもちろんあくまで平均的な目安です。

顔の状況に応じて、少し多くしたり少なくしたりすればいいでしょう。

指先のしわを目安にすれば、いつでも安定した量になるのです。

メイクの初心者が心がける基本 その14

リキッドタイプのファンデーションは、中指の先から第2関節までの量を目安にする。